（注１）　１週間の放送番組の代表例を記載すること。
（注２）　個々の放送番組の内容が放送の目的別種類のいずれかの記号（報道は（報）、教育は（育）、教養は（養）、娯楽は（娯）、その他は（他）と表示）に従い、個々の放送番組の欄内に表示すること。この場合において、一の放送番組の内容が２以上の種類に該当するときは、それらの種類の全てについて表示するとともに放送時間を付記すること。
（注３）　個々の放送番組について、その開始及び終了の時刻を記載すること。
（注４）　補完放送であつて、テレビジョン放送の映像に伴うものの放送を行う場合は、字幕放送、解説放送、ステレオホニック放送、２か国語放送、データ放送の別を個々の放送番組の欄内に、字幕放送は（字）、解説放送は（解）と表示すること。この場合において、一の放送番組で利用方法が複合するときは、それらの利用方法の全てについて表示すること。この場合において、一の放送番組で利用方法が複合するときは、それらの利用方法の全てについて表示するとともに放送時間を付記するものとし、１週間の総放送時間（字幕放送にあつては、字幕付与可能な１週間の放送時間とする。）について、字幕放送、解説放送の別に、１週間の放送時間の総放送時間に対する割合を備考欄に記載すること。
（注５）　有料放送を行う基幹放送の業務の場合は、有料放送に係る放送番組について、個々の放送番組の欄に「有」の記号等を表示し、合計欄内に有料放送に係る時間を（　）で再掲すること。
（注６）　比率は小数点第２位を四捨五入とし小数点第１位まで記載すること。

B　補完放送であつて、超短波放送の主音声又はテレビジョン放送の映像に伴うもの以外のものの放送の放送番組の記載

番組番号	番組名	放送の開始時間及び終了時間
番組数計		

（注１）　１週間の放送番組の代表例を記載すること。
（注２）　放送番組の選択のため付される特定の番号がある場合は、番組番号の欄に記載すること。
（注３）　個々の放送番組の内容が放送の目的別種類のいずれに該当するかを色別、記号別等の方法により、個々の放送番組の欄内に表示すること。この場合において、一の放送番組の内容が２以上の種類に該当するときは、それらの種類全てについて表示すること。
（注４）　番組数計の欄内には、１週間に放送した放送番組の総数を記載すること。
（注５）　有料放送を行う基幹放送の業務の場合は、有料放送に係る放送番組について、個々の放送番組の欄内に「有」の記号等を表示し、合計欄内に有料放送に係る時間を（　）で再掲すること。

㈠　超短波多重放送又はテレビジョン多重放送を行う基幹放送の業務の場合

番組番号	番組名	放送の開始時間及び終了時間
番組数計		

（注１）　１週間の放送番組の代表例を記載すること。
（注２）　放送番組の選択のため付される特定の番号がある場合は、番組番号の欄に記載すること。
（注３）　番組数計の欄内には、１週間に放送した放送番組の総数を記載すること。
（注４）　有料放送を行う基幹放送の業務の場合は、有料放送に係る放送番組について、個々の放送番組の欄内に「有」の記号等を表示し、番組数計欄内に有料放送に係る時間を（　）で再掲すること。
（注５）　比率は小数点第２位を四捨五入とし小数点第１位まで記載すること。

㈡　㈠又は㈡以外の基幹放送の業務の場合

曜日／時刻	月	火	水	木	金	土	日
計	時間　分	時間　分	時間　分	時間　分	時間　分	時間　分	時間　分
合計	時間　分				備考		

（注１）　１週間の放送番組の代表例を記載すること。
（注２）　個々の放送番組の内容が放送の目的別種類のいずれに該当するかを色別、記号別等の方法により、個々の放送番組の欄内に表示すること。この場合において、一の放送番組の内容が２以上の種類に該当するときは、それらの種類の全てについて表示するとともに放送時間を付記すること。
（注３）　個々の放送番組について、その開始及び終了の時刻を記載すること。

イ　放送の目的別種類による放送時間等

放送の目的別種類	１週間の放送時間	比率	備考
報　道 教　育 教　養 娯　楽 そ の 他	時間　分	%	
合　計	時間　分	100.0%	